



染の会(宙)会長 望月八重子さん

越生町サークル紹介



梅

の季節になりました。皆さまは越生町に梅染めのサークルがあるのをご存知でしょうか？ここでは、越生町で梅の草木染めを行っている染の会(宙)をご紹介します。

会長・望月さん 当会は梅染めを主に行っており会員の10名が草木染めをしています。元々、染物に興味があり、町の特産物である「梅」を利用して染物ができないかと考えたのが会の発足理由です。今まで梅の木は剪定で出た枝を捨ててしまいましたが、その枝を使用して色がでないかと試行錯誤を重ねました。

梅の枝を細かくチップ状にし、一週間程煮出して染液を作ります。これを染めたいものと一緒に煮ると褐色に染ま



▲梅の枝チップ



▲染の会(宙)のみなさん

ります。布を縛ったりして染めると模様をつけることができます。好きな色になったら水洗いして干して完成です。自分のイメージしているものができることも嬉しいです。現在、オーティック、うめその梅の駅で購入できるほか、ふるさと納税の返礼品としても購入することが可能です。これからは、梅だけでなく柚子や桜などにも挑戦してみたいです。体験も可能ですので、染物に興味のある方は園までお問合せください。

園望月八重子
090-2638-4098

越生梅林梅まつり

期間・時間 2月11日(土・祝)～3月19日(日) 午前8時30分～午後4時

入園料等 入園料400円(中学生以上) (町民の皆さまは案内チラシに付いている無料券をお持ちください) 駐車場500円

梅の花のライトアップ 2月24日(金)、25日(土)、3月3日(金)、4日(土) 午後5時30分～7時30分
25日:越生ばやし(本町) 午後6時～、4日:さくまひできライブ 午後6時～

イベント 期間中の土・日・祝日に梅園会館舞台で実施

ミニSL 2月18日(土)からの期間中の土・日・祝日に運行

コロナ対策 検温の実施、消毒液の設置、マスクの着用、飲食は所定の場所に限る、手洗い場の設置、入口で感染対策の協力をお願いをする、園内放送での注意喚起などに取り組みます。

*雨天等の日は、イベントが中止、売店が休業する場合があります。

園(一社)越生町観光協会 ☎292-1451

園産業観光課 観光商工担当 ☎内線147



毛呂山町、越生町、ときがわ町、東秩父村の3町1村による『山並み連携ゼロカーボンシティ宣言』を行いました



▲令和4年12月25日 冬霞残る剣ヶ峰(標高819m)より関東平野を背に山並み連携ゼロカーボンシティ共同宣言の様子
左から東秩父村長、越生町長、毛呂山町長、ときがわ町長

ゼ

ゼロカーボンとは二酸化炭素等の温室効果ガスの人為的な発生源による排出量と森林等の吸収源による除去量との間の均衡を達成した状態のことを言います。その実現を目指す地方公共団体を「ゼロカーボンシティ」と呼びます。

近年、地球温暖化が一因とされる気候変動の影響により、日本各地で大雨等の自然災害が頻発するとともに激甚化しており、私たちの生活にも大きな影響を及ぼす深刻な状況となっております。

地球温暖化は二酸化炭素などの温室効果ガスの増加が原因とされており、これを削減していく必要があります。

そこで毛呂山町、越生町、ときがわ町、東秩父村の3町1村で脱炭素社会の実現に向け連携・協働に取り組むことを目的とした「山並み連携ゼロカーボンシティ協議会」を組織し、互いに手をつなぎ、2050年までに二酸化炭素の排出実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ共同宣言」を表明しました。

関東平野の縁端部に位置し、一団の森林による美しい山並み

が形成される「山並み連携ゼロカーボンシティ協議会」は、共有財産である「森林と木」を整備し、保全・活用することで、二酸化炭素の削減に貢献し、地球温暖化対策の一躍を担えるよう、森林について学び、愛着を持ち、育んでいくことが大切なことと考え、さまざまな施策を検討し取り組んでまいりたいと考えております。

2050年カーボンニュートラルの実現に向け、一人ひとりのライフスタイルを脱炭素型へと転換していくことが重要であり、町民のみなさん一人ひとりの協力が不可欠です。

私たちにも、節電や節水、ウォームビズやクールビズ、食事を食べ残さない、マイバツクやマイボトルの使用、ごみの分別やリサイクルなどといった日常生活において身近に取り組めることがたくさんあります。みなさん一人ひとりの取り組みが地球温暖化対策につながります。家庭内でできることから実践し、ゼロカーボンシティの推進にご協力をお願いいたします。

